

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸美容学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期	教室名	鍼灸センター・実習室
担 当 教 員	奥谷、桑原、大西、本多	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>①外部実習に向け必要な知識、技術を身につけ、実践する。 ②センター実習において診察・診療を見学して、職業理解を深め医療人としての職業的態度を修得する。 ③見学を行った内容について適切に記録、報告する。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>評価の基準: 全出席者のみ評価対象とし、センター実習で60%、カンファレンスで40%とする。 評価の方法: 提出物の提出、センター実習中の態度、カンファレンスでの態度など総合的に評価する。</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
センター実習の際は、解剖学、経絡経穴学の教科書を持参すること。						
《授業外における学習方法》						
<p>各授業受講後は外部実習に向け、家族や友人に施術し技術に慣れること。 普段の授業が治療と結びついていることを実感し、解剖学や経絡経穴学を始めすべての科目を実習と結びつけ勉強すること。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>全出席者のみ評価対象とするため、欠席・遅刻はしないようにする。 医療人として必要なマナーや態度を常に心がける。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	附属治療所実習における注意事項を理解し、説明できる。	配布プリント	特になし	
		各コマに おける 授業予定	オリエンテーションにて附属治療所実習の概要を説明する。			
第2回	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	実習の概要を理解し、ケアについて実践できる。	配布プリント	前回までの復習をして おく	
		各コマに おける 授業予定	実習マナー等の説明、実践			
第3回	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	基本ケアの技術を習得し、実践できる。	配布プリント	マナーの復習をして おく	
		各コマに おける 授業予定	身体接触の基礎			
第4回	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	基本ケアの技術を習得し、実践できる。	配布プリント	技術の復習をして おく	
		各コマに おける 授業予定	基礎手技の練習			
第5回	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	基本ケアの技術を習得し、実践できる。	配布プリント	技術の復習をして おく	
		各コマに おける 授業予定	応用手技の練習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本ケアの技術を習得し、実践できる。	配布プリント	技術の復習をしておく
		各コマにおける授業予定	部位別の実践		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	自身が見学した患者の流れをまとめ、説明できる。	解剖学教科書、経穴教科書、課題	学んだ実技を実践しながら、実習内容と関連付けて授業を受講する。
		各コマにおける授業予定	患者の案内から治療の終了までをまとめる。		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	センター実習で使用されている用語を理解できる。	解剖学教科書、経穴教科書、課題	学んだ実技を実践しながら、実習内容と関連付けて授業を受講する。
		各コマにおける授業予定	治療で使用される経穴や解剖学を調べまとめる。		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	自身が見学した患者の流れをまとめ、説明できる。	解剖学教科書、経穴教科書、課題	学んだ実技を実践しながら、実習内容と関連付けて授業を受講する。
		各コマにおける授業予定	患者の案内から治療の終了までをまとめる。		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	センター実習で使用されている用語を理解できる。	解剖学教科書、経穴教科書、課題	学んだ実技を実践しながら、実習内容と関連付けて授業を受講する。
		各コマにおける授業予定	治療で使用される経穴や解剖学を調べまとめる。		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	自身が見学した患者の流れをまとめ、説明できる。	解剖学教科書、経穴教科書、課題	学んだ実技を実践しながら、実習内容と関連付けて授業を受講する。
		各コマにおける授業予定	患者の案内から治療の終了までをまとめる。		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	センター実習で使用されている用語を理解できる。	解剖学教科書、経穴教科書、課題	学んだ実技を実践しながら、実習内容と関連付けて授業を受講する。
		各コマにおける授業予定	治療で使用される経穴や解剖学を調べまとめる。		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	自身が見学した患者の流れをまとめ、説明できる。	解剖学教科書、経穴教科書、課題	学んだ実技を実践しながら、実習内容と関連付けて授業を受講する。
		各コマにおける授業予定	患者の案内から治療の終了までをまとめる。		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	センター実習で使用されている用語を理解できる。	解剖学教科書、経穴教科書、課題	学んだ実技を実践しながら、実習内容と関連付けて授業を受講する。
		各コマにおける授業予定	治療で使用される経穴や解剖学を調べまとめる。		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	自身が見学した患者の流れをまとめ、説明できる。	解剖学教科書、経穴教科書、課題	学んだ実技を実践しながら、実習内容と関連付けて授業を受講する。
		各コマにおける授業予定	患者の案内から治療の終了までをまとめる。		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	実習形式	授業を通じての到達目標	センター実習で使用されている用語を理解できる。	解剖学教科書、 経穴教科書、課題	学んだ実技を実践しながら、実習内容と関連付けて授業を受講する。
		各コマにおける授業予定	治療で使用される経穴や解剖学を調べまとめる。		
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標	自身が見学した患者の流れをまとめ、説明できる。	解剖学教科書、 経穴教科書、課題	学んだ実技を実践しながら、実習内容と関連付けて授業を受講する。
		各コマにおける授業予定	患者の案内から治療の終了までをまとめる。		
第18回	実習形式	授業を通じての到達目標	センター実習で使用されている用語を理解できる。	解剖学教科書、 経穴教科書、課題	学んだ実技を実践しながら、実習内容と関連付けて授業を受講する。
		各コマにおける授業予定	治療で使用される経穴や解剖学を調べまとめる。		
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標	自身が見学した患者の流れをまとめ、説明できる。	解剖学教科書、 経穴教科書、課題	学んだ実技を実践しながら、実習内容と関連付けて授業を受講する。
		各コマにおける授業予定	患者の案内から治療の終了までをまとめる。		
第20回	実習形式	授業を通じての到達目標	センター実習で使用されている用語を理解できる。	解剖学教科書、 経穴教科書、課題	学んだ実技を実践しながら、実習内容と関連付けて授業を受講する。
		各コマにおける授業予定	治療で使用される経穴や解剖学を調べまとめる。		
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	発表を通じ、他者の考え方などを理解する。	配布プリント	学んだ実技を実践しながら、実習内容と関連付けて授業を受講する。
		各コマにおける授業予定	報告会にて、各々が成果を発表する		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	発表を通じ、他者の考え方などを理解する。	配布プリント	学んだ実技を実践しながら、実習内容と関連付けて授業を受講する。
		各コマにおける授業予定	報告会にて、各々が成果を発表する		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	発表を通じ、他者の考え方などを理解する。	配布プリント	学んだ実技を実践しながら、実習内容と関連付けて授業を受講する。
		各コマにおける授業予定	報告会にて、各々が成果を発表する		
第24回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第25回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第26回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第27回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第28回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第29回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第30回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第31回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第32回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第33回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第34回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第35回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			